

## 理事長挨拶



### 社団法人 大正琴協会理事長 海部 俊樹

新年明けましておめでとうございます。

会員、愛好者の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、社団法人大正琴協会の運営にあたり格別なご理解とお力添えを賜り厚くお礼申し上げます。

社団法人大正琴協会は平成5年に設立以来今年で15年目に入ります。社団法人としての公益性をモットーにより今後とも活発に進めてまいりたいと考えております。

昨年は大きな話題が続出した年でもありました。世界では隣国の核実験、国内ではいじめによる自殺や飲酒運転による交通事故が大きな社会問題化しました。新年に当たり天皇陛下の感想にもありましたように「互いに信頼しあって暮らせる社会を目指し力を合わせていくこと」が一番大切なことであると思います。また、今年から40年近く働いた人たちがここ4年間の間に団塊の世代として大量定年を迎えます。家族の絆、家庭の温かさ、家庭の温もりを一番味わうときと考えます。このような皆さんにも大正琴音楽の味わいが出会いとして期待しているところであります。

最後に、誕生から100年に成ろうとしています大正琴楽器を音色とともに絆として多くの皆さんが楽しみ生涯学習として研鑽されますこと期待申し上げます。一層のご高配を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員、愛好者の皆様のご健勝を心から申し上げご挨拶と致します。

# 社団法人大正琴協会第28回通常総会議事録

1. 日 時 平成18年12月6日(水)  
開会 午後1時00分  
閉会 午後1時50分

2. 場 所 大阪市淀川区西宮原一丁目3番35号  
大阪ガーデンパレス

3. 出席状況 会員の総数 4,584名  
出席会員数 3,935名(委任状含む)

## 4. 議事の概要

### (1) 開会

定刻に、司会者の企画委員長横幕睦理事が挨拶。

総務委員長奈須忠信理事が、開会を宣言。

### (2) 議長選出

司会者が、議長選出方法を議場に諮ったところ司会者一任の声あり。よって、岩間昌一副理事長を本総会の議長としたい旨諮ったところ、全員一致をもって選出し、同副理事長は、これを了承し議長となり、挨拶をした。議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、正会員現在数の4分の3以上の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。

### (3) 議事録署名人選出

議長が、議事に先立ち議事録署名人2名の選出について諮ったところ、議長一任の発言があり、全員異議なく賛成したので、議長は、加藤英也理事及び同吉崎裕幸理事を指名し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

## 5. 議 事

### 第1号議案 平成18年度

収支予算執行状況報告に関する件

議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。

同事務局長は、予め配布した資料をもとに収支予算執行状況(平成18年4月1日から同年9月30日まで)について詳しく報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、本件を了した。

### 第2号議案 平成18年度

収支補正予算案承認に関する件

議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。

同事務局長は、予め配付した資料をもとに平成18年度収支補正予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

### 第3号議案 理事1名選任に関する件

議長が、組織委員長北林豊理事に本件議案の説明を求めた。

同理事は、当協会の理事を1名選任する必要がある旨を詳しく説明し、下記の理事候補者を発表した。議長は下記の者を指名し、この者についてその可否を議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認可決した。

理事 長野県長野市大字村山287番地 小坂 憲次

### 第4号議案 平成19年度

事業計画案承認に関する件

議長が、事業委員長平野芳男理事に本件議案の説明を求めた。

同理事は、予め配布した資料をもとに平成19年度事業計画案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ満場異議なく原案どおり承認可決した。

### 第5号議案 平成19年度

収支予算案承認に関する件

議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。同事務局長は、予め配布した資料をもとに平成19年度収支予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

## 6. 閉会

以上をもって、社団法人大正琴協会第28回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、総務委員長奈須忠信理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

平成18年12月6日

社団法人大正琴協会 通常総会

議 長 岩間昌一 印

議事録署名人 加藤英也 印

同 吉崎裕幸 印

# 平成19年度事業計画(主要事業)

## 1. 生涯学習に関する普及・啓発活動

- (1) 第19回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会(中央事業)
  - ・日時 平成19年11月2日(金)～11月6日(火)の1日間
  - ・場所 岡山県と折衝中
  - ・趣旨 人々の生涯学習に対する意欲を高めるとともに、人々の学習への参加を促進することを目的として開催されている。  
当協会としては、全国生涯学習フェスティバルに参加し、会員、大正琴愛好者に対してフェスティバルへの来場の呼びかけを行います。
- (2) 体験学習・見本市への参加
  - ・日時 平成19年11月2日(金)～11月6日(火)
  - ・場所 岡山県総合グランド
  - ・趣旨 大正琴を通じて生涯学習の普及・振興を図るため、より多くの人々をフェスティバル会場へ来場を呼びかけるとともに、大正琴の演奏技法を体験していただき、より豊かな自己を造りだすきっかけを提供し、生涯学習への参加を呼びかける。
- (3) 小中学校公民館に対して大正琴を寄贈して指導を行う

## 2. 生涯学習に関する各種講座・講習会等の開催

- (1) 協会主催の講演会を開催します。
- (2) 地域における各種講座、講演会の開催・生涯学習機会の提供等への援助  
(地方事業助成費)

## 3. 演奏会・指導者研修会

- (1) 第19回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会(岡山県)
- (2) 第16回大正琴定期演奏会  
(沖縄県宜野湾市 沖縄コンベンションセンター)
- (3) 地域における大正琴演奏会への支援
- (4) 指導者研修会の開催

## 4. 調査研究事業等

- (1) 参加しやすい大正琴
- (2) 生涯学習に関する実践のあり方
- (3) 世代別の愛好者の曲

## 5. 出版物の刊行

- (1) 機関誌「協会だより」
- (2) ホームページの開設



# 平成19年度収支予算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日

## I 事業活動収支の部

### 1. 事業活動収入

(1) 基本財産運用収入	15,000円
(2) 入会金収入	250,000円
(3) 会費収入	16,752,000円
(4) 事業収入	
①生涯学習フェスティバル出場料	6,125,000円
②大正琴定期演奏会 出場料	14,400,000円
入場料	2,000,000円
事業収入計	22,525,000円
(5) 補助金収入	3,680,000円
(6) 雑収入	500,000円
(7) 出版物収入	0円
事業活動収入合計	43,722,000円

### II. 事業活動支出

(1) 事業費支出	31,650,000円
(2) 管理費支出	15,331,000円
事業活動支出計	46,981,000円
事業活動収支出差額	-3,259,000円

II 予備費支出	500,000円
当期収支差額	-3,759,000円
前期繰越収支差額	14,548,466円
次期繰越収支差額	10,789,466円

# 第18回全国生涯学習フェスティバル(茨城県) 大正琴合同演奏会 見本市の報告

平成18年10月6日(土)から10月7日(日)までの2日間にわたり低気圧の影響での悪天候の中、茨城県大洗町大洗文化センターにおいて、第18回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会を盛大に開催することができました。

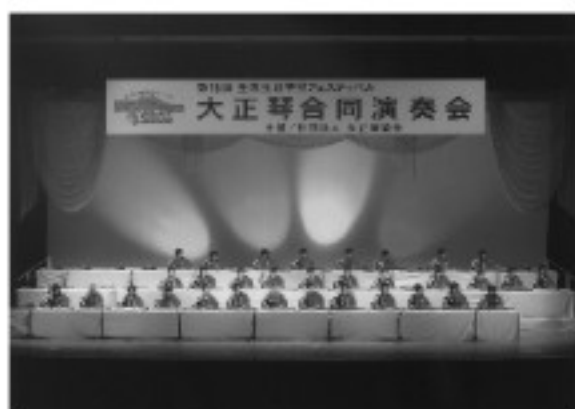
台風並みの悪天候、初めての2日間開催にもかかわらず、地元大洗町の協力と、生涯学習フェスティバルに対して、皆様のご理解をいただき、茨城県並びに隣接県は勿論のこと、遠くは、福島県、宮城県、栃木県からもご出演いただきました。特に、地元茨城県の大正琴愛好者の皆様には格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当地は、日本三大庭園の一つ水戸の偕楽園があり、大洗は太平洋に面した美しい町ということもあって、2日間42グループ、1585名の出場をいただきました。主催担当者としてこの上もない喜びであります。

最後に、第18回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会が、無事故で、盛大に終了出来ましたことをご報告申し上げるとともに、開催にあたりご支援、ご協力をいただいた関係者の皆さんに心より感謝申し上げます報告にかえさせていただきます。

第18回全国生涯学習フェスティバル合同演奏会実行委員会  
実行委員長 加藤 英也



琴修会



琴城流



琴生流



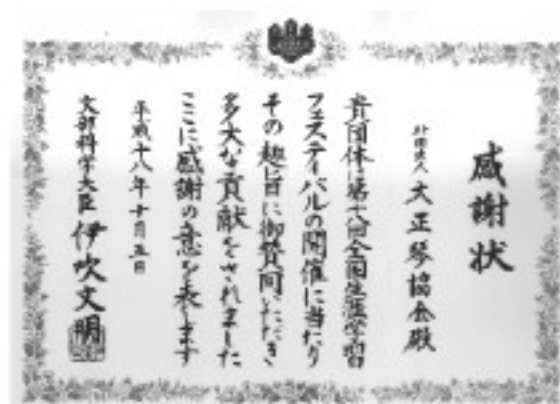
琴伝流



ヤマハ大正琴 琴友会



出展ブースで大正琴を  
楽しく弾く子供たち



# 『大正琴愛好者が好む曲』 (平成17年度調査報告書)発行のお知らせ

大正琴協会では、協会発足以来さまざまな角度から大正琴にかかわる調査を行って参りましたが、このたび平成17年度調査報告書がまとまりました。

大正元年(1912)に森田吾郎(川口仁三郎)氏により発明されて以来、盛衰の歴史を繰り返しながら受け継がれてきた大正琴ですが、今日では演奏できる音楽の幅も広がり、“何でも弾けない曲はない”楽器になりました。今回の調査は、大正琴愛好者たちが大正琴でどのような音楽を弾きたいと思ってるのか、また、愛好者たちが日頃どのような音楽に親しんでいるのかを明らかにすることを目的として実施されました。

調査はアンケートの方法で行い、第15回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会(平成15年11月29日)、第22回通常総会(平成15年12月10日)、第12回大正琴定期演奏会(平成16年2月7日/8日)、平成15年度指導者研修会(平成16年3月3日)の各会場で参加者にアンケート用紙を配布し、計2069枚を回収しました。アンケート用紙の男女比率は、男性69名(3.3%)、女性1990名(96.2%)、不明10名(0.5%)、年齢的には60才以上が1573名(76.0%)、50代332名(16.1%)、40代66名(0.2%)となっています。

調査結果の中から、特徴的な点を以下に紹介しましょう。

大正琴愛好者が好む曲として、全部で535曲が挙げられましたが、中でももっとも人気の高い曲は、2003年に「SMAP」が歌った《世界に一つだけの花》で、2069名中265名によりこの曲が選ばれました。年齢的には、10才未満8名、10代25名、20代13名、40代18名、50代36名、60才以上161名の方々がこの曲を「好みの曲」としており、年齢を越えて愛されている曲といえるようです。

次に人気のある曲は、2001年に夏川りみが歌った《涙そうそう》で、この曲も年齢を越えて好まれている一曲です。以下、第3位《大きな古時計》、第4位《早春賦》、第5位《地上の星》の順になりました。ちなみに《早春賦》は、中年層以上の方々に多くの支持を得ています。

一方、音楽ジャンルに関しては、1位「演歌・演歌調の歌(テレビ主題歌を含む)」2位「日本のポピュラー音楽(ポップス調歌謡曲、アニメソング、テレビ主題歌を含む)」3位「外国のポピュラー音楽(映画音楽、ミュージカルを含む)」となりました。

本報告書は、現時点における大正琴愛好者の音楽的好みを知る上で重要な資料といえるでしょう。大正琴関係者はもちろん、音楽に関心を寄せる方々の間で広く活用されることを期待致します。

報告書をご希望の方は、大正琴協会事務局までお問い合わせ下さい。

(平成17年度調査報告者：名古屋芸術大学 金子敦子)

## 講演会を開催

第28回通常総会后、下記の要領で講演会を開催致しました、その内容を紹介します。

日 時：平成18年12月6日(水) 14時20分～15時30分  
場 所：大阪ガーデンパレス  
講 師：広島大学大学院教授 吉富 功修  
演 題：「生涯学習として音楽をいかに楽しむか」

### 項目

幼児教育における音楽活動育の課題  
音楽科の学力とは  
幼児教育における音楽活動  
歌声の低下と歌唱の不安定  
どなり声の問題点  
音楽科の基礎・基本を考える  
小学校における音高の体制化をめぐって  
生涯学習と大正琴の特性  
大正琴を学ぶ人の特性



以上の項目をデータを屈指しながら講演いただきました。

特に印象的だったのは子供の怒鳴り声は発声器官、特に声帯にダメージを与えることであり、「指導者が大きい声で元気が無いよ、口を大きく開いて」等の指導が決して発しては成らないタブーである。人の声には話し声と歌声があることを告げ、指導者自ら優しい声・小さい声で範唱することの重要性を強調されていました。

また、大正琴を学ぶ人の特性では、アンケート結果により、長い間続けられたり、女性が多いということデータを基に説得力ある話をされました。

## 協会案内のリニューアルについて

平成18年12月6日に2年ぶりにリニューアルしました、内容も6ページとなりました是非お読みください。

内容としまして今まで社団法人として公益性ある活動の一環を実績として紹介しました。

また、大正琴協会の目的・事業・役員名簿・大正琴の歴史・加盟5流派・協会事業の実績を網羅しています。併せて定期演奏会・全国生涯学習フェスティバル合同演奏会の過去の実績・講演会実施状況・国民文化祭・その他の活動状況を時系列にまとめました。最後に、当協会から刊行した出版物の発行状況も記しています。



## 会員たより

### 音楽を心のサプリメントとして

大正琴音楽のすばらしさに共感しています。持ち運びが簡単、その上色々なジャンルの曲も弾けるのですから高齢者の人気は勿論のこと、今では年齢を問わなくなってきました。新譜に挑戦するレッスンの日には「むつかしい…」と言いながら皆さんで音を合わせ、曲を作り上げていくのですが

「今日は前頭葉がよく働いたから五歳位は若返りましたよ」等と言いながら一曲ずつマスターして行く喜びを分かち合っています。楽しみながら夢中にレッスンをする事は、心身のストレッチにもなる事でしょう。そして、現代ではサプリメントが健康維持に必要であるとも言われています。

大正琴を日常生活に取り入れ、演奏することによって充実した瞬間が持てる喜び、また、友達との輪が広がる喜びがあります。これ即ち心の栄養を培っている事と思います。

音楽は心のサプリメントと言えるのではないのでしょうか。

琴修会 野村 仁晃子



写真は集合写真  
「左から1人目が野村仁晃子さんです」

## 今後の文化活動等スケジュール予定

### 定期演奏会

#### ☆第15回大正琴合同演奏会

- 日 程 平成19年2月10日(土)、11日(日)
- 会 場 なら100年会館  
奈良市三条宮前町7-1

#### ☆第16回大正琴定期演奏会

- 日 程 平成20年2月16日(土)～17日(日)
- 会 場 沖縄県宜野湾市  
沖縄コンベンションセンター

### 全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

#### ☆第19回合同演奏会

- 日 程 平成19年11月2日(金)～11月6日(火)間の1日間
- 会 場 岡山県内を予定

#### ☆第20回合同演奏会

- 日 程 平成20年10月11日(土)～10月15日(水)間の1日間
- 会 場 福島県内を予定

### 指導者研修会

#### ☆平成18年度

- 日 程 平成19年3月7日(水)13:30～15:00
- 会 場 ホテルライフオート札幌  
札幌市中央区南十条西1丁目 TEL 011-521-5211

#### ☆平成19年度

- 日 程 平成20年3月を予定
- 会 場 福岡市内

### 第29回通常総会

- 日 程 平成19年6月6日(水)
- 会 場 名古屋ガーデンパレス  
名古屋市中区錦3-11-13 TEL 052-957-1022

### 第30回通常総会

- 日 程 平成19年12月5日(水)
- 会 場 ホテルフロラシオン青山  
東京都港区南青山4-17-58 TEL 03-3403-1541

## 編集後記

2007年もスタートして1ヶ月に成りそうです。年の初めには無病息災とか一病息災を願い神社等へ初詣される方も多くあったと思います。お互いにこの1年病気せず災いに遭遇せず健康で居られることを願うものです。

ところで、昨年はメディアを通じて「命」の大切さがこれほどまで叫ばれたことは無かったと思っています。京都清水寺の管長さんも漢字の十大大一字に「命」を揮毫されました。毎日生きていくことの大切さと併せ喜怒哀楽を持った毎日が愉快地生きていくことを願うものです。